



2024年11月18日

各 位

会 社 名 株式会社アストロスケールホールディングス
代表者名 代表取締役社長兼 CEO 岡田 光信
(コード：186A 東証グロース市場)
問 合 せ 先 取締役兼 CFO 松山 宜弘
(TEL. 03-3626-0085)

ISSA-J1に係るフェーズ1の交付金額変更及びフェーズ2の部分交付に関するお知らせ

当社の日本連結子会社である株式会社アストロスケールが、ISSA-J1（旧 SBIR）のフェーズ1に係る計画変更承認申請書及びフェーズ2の部分交付に係る交付申請書を一般社団法人低炭素投資促進機構に提出し受理されたことをお知らせいたします。フェーズ1の交付額減額及びフェーズ2の部分交付額はいずれも812百万円であり、全3フェーズを通じて最大12,000百万円の補助金が交付される見込みであることに変更はありません。

ISSA-J1は、大型の衛星を対象デブリとした近傍での撮像・診断ミッションであり、2023年9月、株式会社アストロスケールは文部科学省の中小企業イノベーション創出推進基金（SBIR 基金）における宇宙分野のテーマ「スペースデブリ低減に必要な技術開発・実証」において、研究開発課題「軌道上の衛星等除去技術・システムの開発・実証」に採択されました。

1. 変更概要

フェーズ1 交付額減額 : 812百万円 (変更前: 2,690百万円、変更後: 1,878百万円)
フェーズ2 部分交付額 : 812百万円

本変更後も、全3フェーズを通じて、補助金総額（最大12,000百万円）及び事業期間（2028年3月末まで）について変更はありません。

なお、本件は、2024年11月18日に株式会社アストロスケールの取締役会にて決議を行いました。

2. 変更の背景

補助金の交付金額対象範囲に関する一般社団法人低炭素投資促進機構との協議の結果、一般的にマイルストーン達成に応じてベンダーに都度支払いを行うマイルストーンペイメント方式において、マイルストーン成果物ではなく最終製品の納品をもって補助金を申請すべきとの結論となりました。したがって、フェーズ1における当方式での成果物に対する交付申請はフェーズ2で行うこととなり、その結果、フェーズ1の交付金額を減額し、同額につきフェーズ2において部分交付申請を行うこととなりました。

3. 今後の見通し

現時点において、見合いで申請したフェーズ2の一部交付に対する概算払いを想定すれば、本変更が2025年4月期通期の連結業績予想（プロジェクト収益）に与える影響は軽微と考えています。今後、公表すべき事項が生じた場合には、速やかに開示いたします。本件に関するプロジェクト収益は事業期間にわたって計上される予定です。

以上